

第3回：HTMLの基本をや さしく解説

本日はHTMLの基本についてやさしく解説します。これを学ぶことで、ウェブページ作成がスムーズになります。

HTML（Hyper Text Markup Language）はウェブページを作るための基本的な言語です。これからその役割を理解します。



HTMLの定義

HTMLは、ウェブページの内容や構造を記述するための言語です。主にブラウザが内容を正しく表示するために必要な情報を提供します。



HTMLの重要性

HTMLはウェブの基盤を形成します。テキスト、画像、リンクなど、様々な要素を整理し、ユーザーに分かりやすく表示させる役割を果たします。



HTMLの使用例

ウェブサイトのほとんどはHTMLで構成されています。ブログ、企業サイト、ECサイトなど、多くの場面で使用されており、必要不可欠です。

**HTMLはウェブページを構成するための重要な役割を担っています。
具体的な役割について深く掘り下げます。**

文書の構造化

HTMLは、見出しや段落、リストなどを使って文書を構造化します。これにより、情報が整理され、読みやすくなります。

コンテンツ表示

画像やテキスト、動画など、さまざまなコンテンツをウェブブラウザで適切に表示するための役割を果たします。

リンクの設定

HTMLでは、他のウェブページへのリンクを簡単に設定できます。これにより、情報の探索がスムーズになります。

HTMLには多くのタグが存在しますが、特によく使われるタグについて詳しく解説します。

見出しタグ

<h1>から<h6>までの見出しタグは、情報を階層化し、重要度を示します。<h1>は最も重要な見出しです。

段落タグ

<p>タグは段落を表す際に使用します。テキストを分け、文のまとまりを強調します。

画像タグ

タグを使って画像を表示します。src属性で画像のパスを指定し、alt属性で説明を加えることが可能です。

リンクタグ

<a>タグはリンクを作成する際に使用されます。href属性でリンク先を指定し、クリック可能なテキストを表示します。

よく使うタグの中から、
特に見出しタグと段落タグについて詳しく説明します。

見出しの使い方

<h1>はページの主要なタイトルに使います。<h2>以降は副見出しとして使い、情報を段階的に整理します。

段落の役割

<p>タグはテキストを段落に分け、内容を伝えやすくします。行間が広がり、視覚的に見やすくなります。

コーディング例

例えば、次のように記述します。

**HTMLにおいて、画像とリンクは重要な要素です。
これらのタグを使いこなすことで、コンテンツが豊かになります。**

01

画像の埋め込み

タグを使用することで、ウェブページに画像を表示できます。src属性で画像のURLを指定し、alt属性で内容を説明します。

02

リンク作成法

<a>タグを使えば、ハイパーリンクを作成できます。href属性でリンク先を指定し、クリック可能な部分を設定します。

03

コーディング例（タグ）

画像とリンクの具体例を示します。

HTML文書は特定の構造を持っています。その基本構造を理解することが大切です。

基本フォーマット

HTML文書は以下のような基本フォーマットで構成されます。最初にDOCTYPEを宣言し、次に<html>タグで囲みます。

<head>セクション

<head>セクションにはページのタイトルやメタ情報が含まれます。ここでCSSやJSのリンクを設定することもあります。

<body>セクション

<body>セクションにはページの内容が入ります。見出し、段落、リストなどのコンテンツがここに配置されます。

コーディング例

具体的なHTML文書の例を示します。

HTMLを作成するには、適切なエディタが必要です。いくつかのおすすめのエディタを紹介します。

Visual Studio Code



Visual Studio Codeは無料で高機能なコードエディタです。拡張機能も充実しており、HTMLを効率よく書けます。

Atom



Atomはカスタマイズ性が豊かで、プログラミング初心者にもおすすめのエディタです。使いやすさが特徴です。

Sublime Text



Sublime Textは軽快に動作し、多機能性が売ります。特に、コードのナビゲーションがしやすい点が魅力です。

インストール方法



各エディタの公式サイトからダウンロードし、インストールすることで使用開始できます。分かりやすいガイドがあります。

ここでは実際にHTMLを書いてみる演習を行います。基本的な構造を理解を深めましょう。

01

課題内容

課題は以下の通りです。1. 基本的なHTML構造を作成し、2. 見出しや段落を追加し、3. 画像とリンクを埋め込んでみましょう。

02

ブラウザで表示

作成したHTMLファイルを保存し、ブラウザで表示します。表示結果を確認し、動作を理解しましょう。

03

提示例

最初の例として、以下のような簡単なHTML文書を作成します。

**本日の講義を振り返り、次回の内容についてもお知らせします。
HTMLの基本を理解できるようになりました。**

01 / 本日のまとめ

HTMLの基本について学びました。HTMLの役割、よく使うタグ、基本構造、エディタの使い方を理解しました。

02 / 次回の学び

今回はCSSを使ったウェブページのスタイリングについて学びます。デザインの基礎を学ぶ機会ですので期待してください。

03 / 受講者へのメッセージ

皆さんお疲れ様でした。今後も継続して学ぶことで、より高度なウェブ制作技術を身につけていきましょう！